

**両中じまんのお茶コーナー！
利用するほど、からだは活きる!?**

両河内中学校
茶会

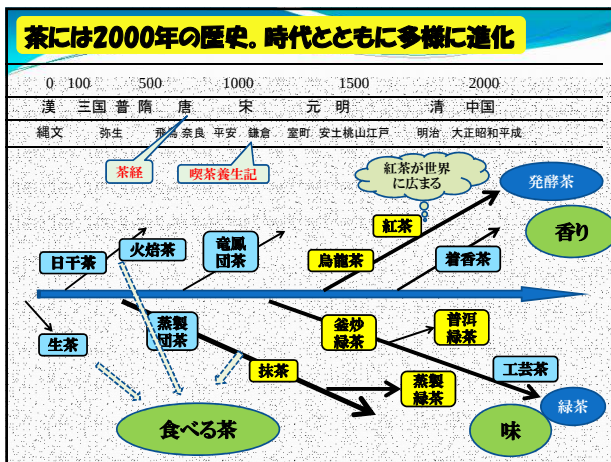
イラスト等、各種HPより引用

茶の始まり

神農

西暦500年前後に陶弘景 (452-536) がまとめた『神農本草経』に「神農嘗百草、日遇七十二毒、得茶而解之」

Camellia sinensis から作られる多様なお茶は、カフェイン、カテキン、テアニンなどの特異成分を含むが故に世界中の人々を虜にした



同じ茶葉から様々なお茶が簡単に作れます

生葉	緑茶	紅茶
カテキン類	⇒	テアフラビン、テアルピジン
クロロフィル	⇒	フェオフィチン
ビタミンC	⇒	消失(酸化、分解)
香り	⇒	花様香気

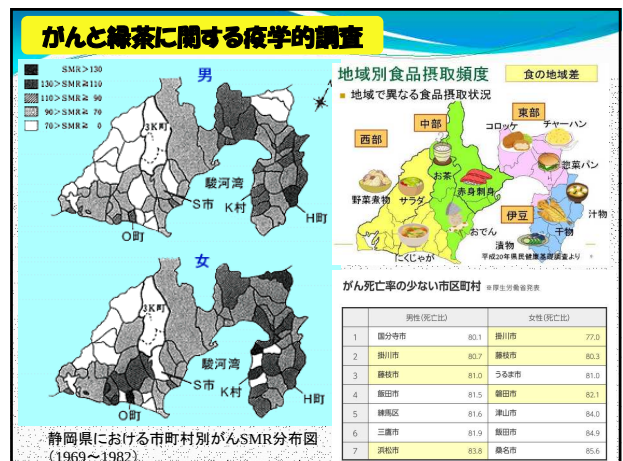
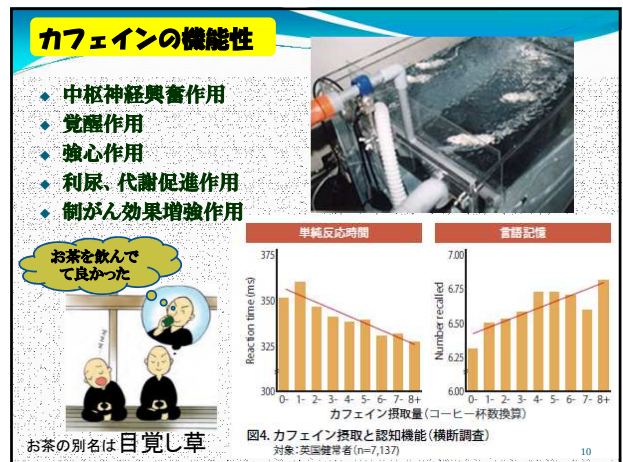
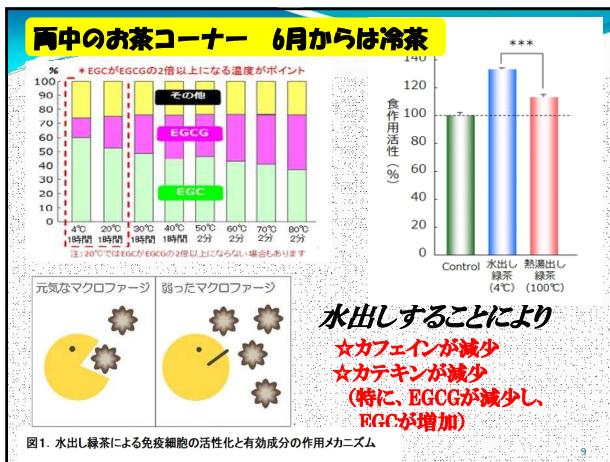
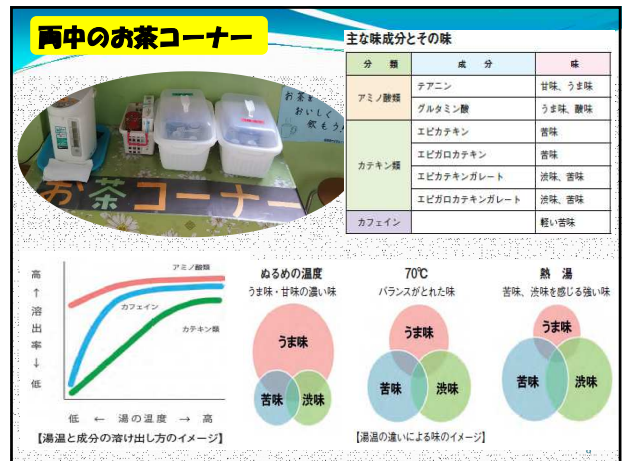
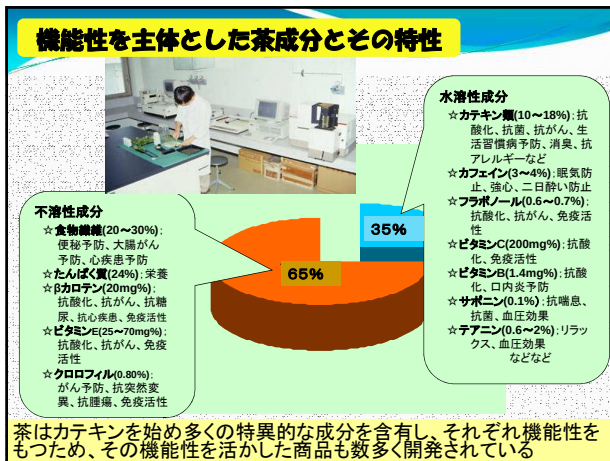
何故、お茶が世界中で愛飲されているのか？

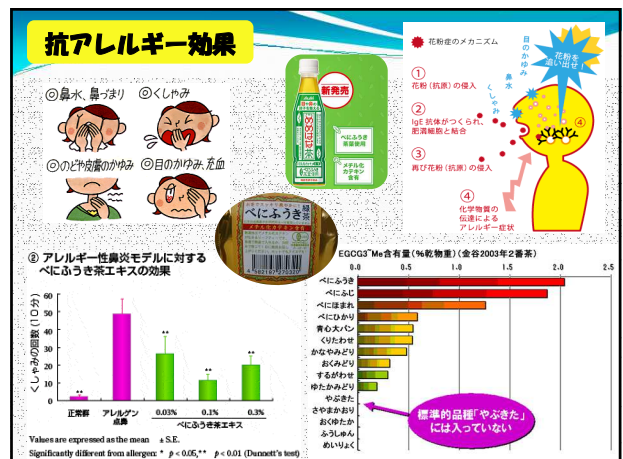
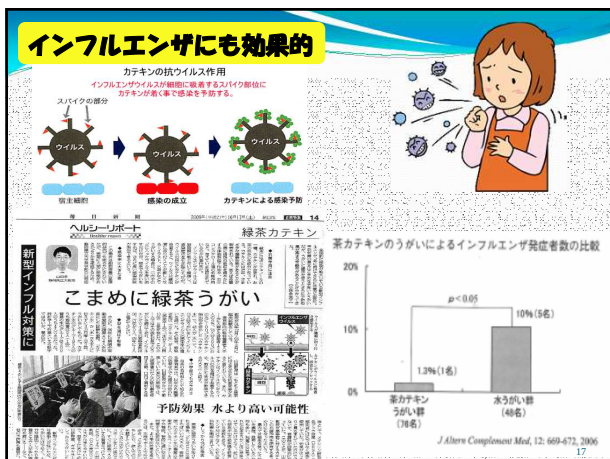
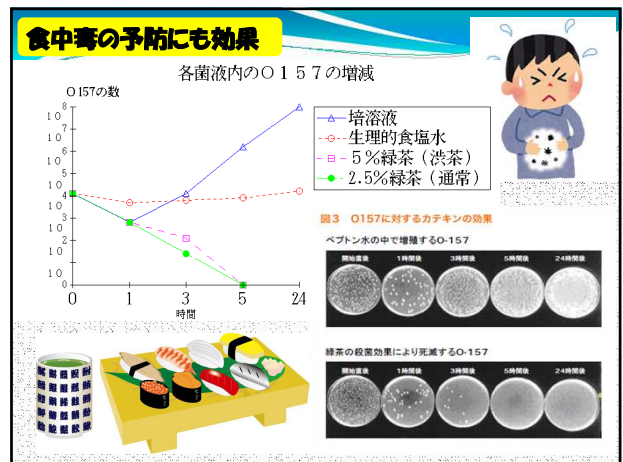
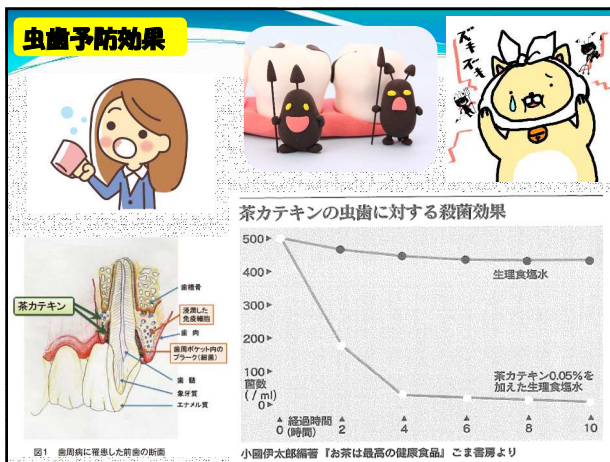
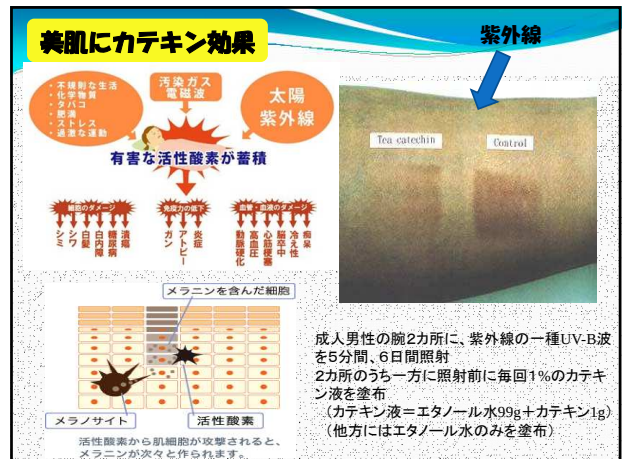
- ① 向精神作用(心に効く、ナルコチックス)**
エナジードリンク、Cool Exciting、目覚まし草
- ② 機能性作用(当初から薬用植物として認知されている)**
神農本草経(最古の薬書: 上薬)、喫茶養生記、紅茶論争、等々
- ③ 文化的飲み物**
東洋の神秘、茶の本(岡倉天心)、茶の湯、紅茶文化
- ④ 豊かな香味、美味しい飲み物**
- ⑤ 多彩なバリエーションを創り上げることが可能**
- ⑥ その他**
植民地戦略、アルコールとの関係

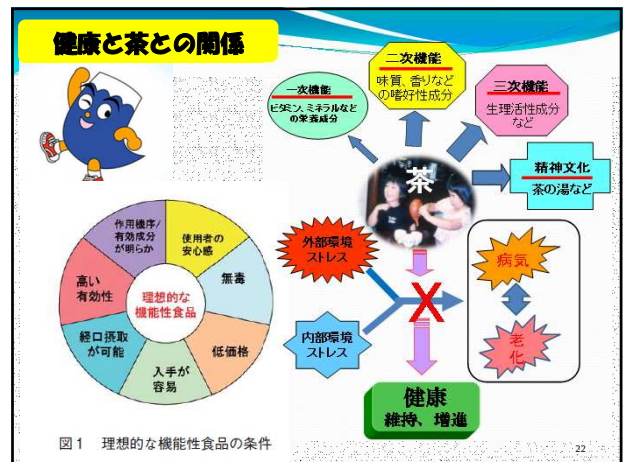
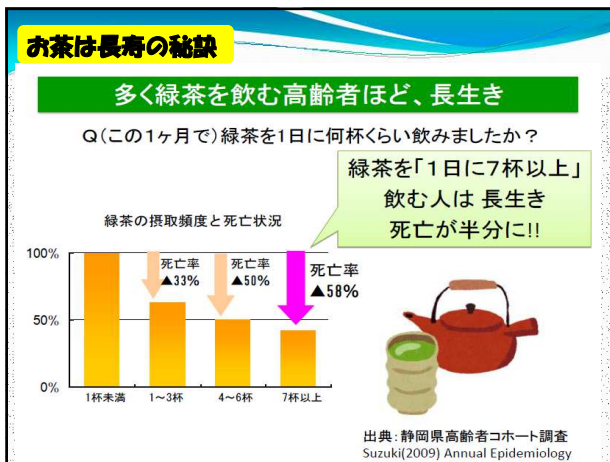
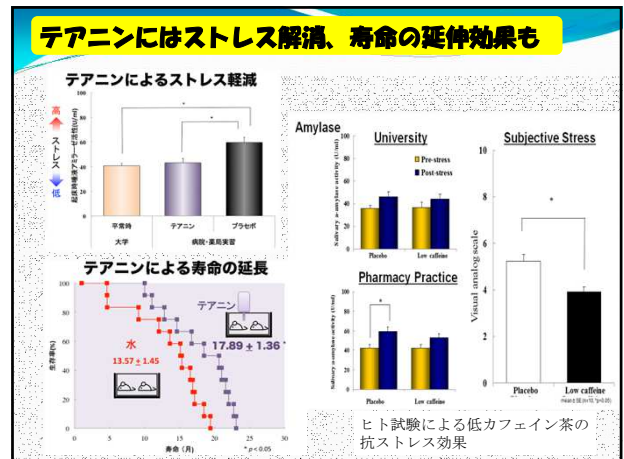
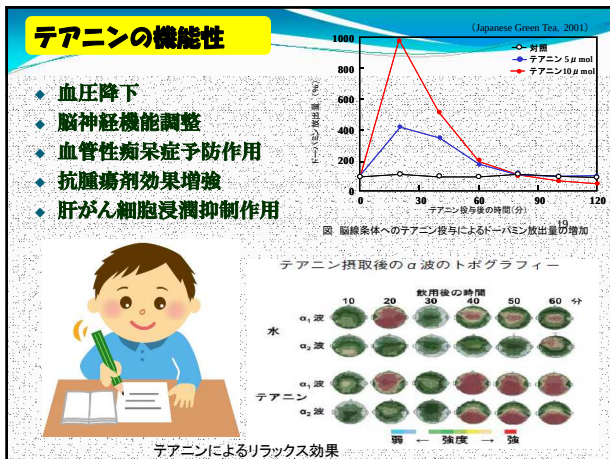
喫茶養生記

茶者養生之仙藥也、延齡之妙術也

- ① 茶は身体衰弱、意志消沈のときは、氣力を強くする。
- ② 茶は人を愉快な気持ちにさせ、酒の酔いを醒まし、睡気を起こさない。
- ③ 茶は小便の通じが良く、喉の渇きをとりにくく、消化不良をなくす。
- ④ 茶は身を軽くし、脚氣によい。
- ⑤ 茶は精神を整え、内臓を和らげ、身体の疲労をやすらかに除く。







茶の新需要の事例

区分	需要分野と応用例
茶として利用	水出し茶、各種発酵茶、新香味茶、ギャバロン茶、低カフェイン茶、濃縮茶、混合茶 など
飲用・形態を変えて利用	ドリンク茶、ティバッグ、インスタントティ、粉末茶、微粉末茶(食用、即席飲用、酒制用)、カード茶、錠剤茶、カプセル茶、茶ワイン、緑茶酒、スポーツ飲料、カテキン粉末など
食品・食用として利用	☆ 形態を変えてそのまま食用として利用 ☆ 食品素材として利用 「素材」「食品」「菓子類」「その他」健康補助食品
飲食物以外に利用	☆ 衣料用など ☆ 医療用 ☆ 化粧品、石鹸用など ☆ 消臭剤、脱臭剤など ☆ 日用品など ☆ 建材、家具、家電用品など ☆ 家畜、ペット用品 ☆ 植物活性用 ☆ その他

茶は飲用だけでなく、食品素材として、さらには機能性成分を活かした様々な飲食物以外にも利用され、新しいビジネスを創造している

静岡茶愛飲条例

1. 児童生徒への静岡茶の愛飲を促進する

2. 静岡茶による食育(茶育)の推進

・お茶の美味しさ、機能、産地、歴史、茶の文化等々の理解を深める教育

3. 給食、休憩時間も利用

4. 静岡茶を愛し、飲用を毎日の習慣とする

緑茶でうがいしよう!

マイボトルに、入れれば、いつでも、うがいできるよ!